

8月25日開催特別委員会意見一覧

①道路	認定こども園の出入り口の道路については、対面通行でなくて、一方通行で運用できるように動線を考慮してほしい。
②駐車場	高齢化の時代になってきて、例えば庁舎に行った方がケアセンターに用事があるって行きたいと。そういう時はまたこれ、車に乗って遠回りしなくてはいけませんよね。そのへんを今、庁舎と文化交流センターの間に動線がありますよね。これを真っすぐ福祉センターくらいまで通して、その右側全部を駐車場にするなんていう考え方はないですか
③センター	今の町内高齢者を対象にしてやっております敬老会事業。これについても現状で参加者が増えれば、開催できない。そういうような広さにもなってきていますので、収容能力を上げることに賛成でございます。あとステージの狭隘化も改修する、控室も設置する。これについても大賛成でございますが、
⑤福祉センター	福祉センターに大きな課題がございまして、それは可動式の椅子でございます。今回、この財源措置がされる中で計画されなければ、この先ずっと可動式の集会室を持つことはできないと思いますので。この大規模改修の案が出ておりますけれども、大規模改修ではなく、可動式の椅子が設置できるように建て替えることを望みます。
⑥福祉センター	この福祉センターの関係。確かに規模を大きくして大集会室をそれなりの広さにするというような書き方もしておりますけれども、先ほど課長も話していただきましたけれども、人口7,000人当時から現在まで、あそこの福祉センターについては途中で改修もやっているんですよ。それは現状の建物に合わせて、特に舞台に上がる方々の動線を確保するというような改修もやっていますし、部分的にもクロスの張り替え等々の改修もやっている、音響関係も改修をやっているということ踏まえますと、これからの人口減少の町を考えた時に、ここはいじらなくて私はいいと思いますし、説明の中で敬老会等々の話もありましたけれども、だとしたら福祉センターでやらないで、スポーツセンターとかドームとか、そちらの大きいほうでもまだ町の施設としてあるわけですから、それらの活用を考えたほうがいいと思いますので、現状いじらなくていいというふうに私は思います
⑦解体施設	解体にも青少年センターと、それと先ほど言った児童会館のそういった面で、どちらがいいかというのは先ほど課長が言いましたように、壊したほうが金額的にも出たということなんですけれども、やはり町民の皆さんから見た金額とかそういうことではなく、そのまましておいたほうがいいんじゃないかと。展望台にしても何にしても、高価なものです。そういった面でもどうかという私の意見です。
⑧事業費と財源内訳	事業費と財源というか事業費も、削減されていくだろうという前提があります。本当に事業費そのものを私自身こういう町の提案は、以前の最初の解体費を含まない中での66億円くらいでしたか。それが今度、解体費等含めて64億円くらいになっていますので、一定の削減になっていますけれども、もっともっと議論の余地があるのではないかと。そういう意味では結果、そういう事業費と関わっていくのではないかなと思います。